

精神疾患のより良い診断・治療法を見つけるため、 脳脊髄液を分けていただける方を募集しています。



脳脊髄液とは？

脳脊髄液は、脳の周囲にたまっている液体で、毎日新たにつくられて古いものと置き換わっています。この液体には脳の成分が少し溶け込んでいます。脳の病気では、その病気に特徴的な成分が含まれていることがあり、髄膜炎等の診断に使われています。近年では、アルツハイマー型認知症の早期診断に使えることも分かってきました。



何を研究するの？

統合失調症や気分障害などは、まだ原因が不明で、診断や治療は、医師との対話で行われています。もし、糖尿病や高血圧などのように客観的な検査で診断や評価ができれば、より早く正確に、一人一人の状態にあった治療ができ、副作用も減らせる可能性があります。そのような目印となるタンパク質を脳脊髄液で探ることが、本研究の目的です。原因となるタンパク質が分かったら根本的な治療法も生まれるかもしれません。

統合失調症、気分障害（うつ病・双極性障害など）、認知症の治療をしている・していた方、健康な方のご参加をお待ちしております。



どんな検査？

脳脊髄液は図のように、腰から針を刺し、約13ml採取します。この量は通常の検査で採取する量と変わりません。通常、痛みは最初の針を刺すときだけで採血とあまり変わりませんが、検査後に一時的な頭痛が起こる方もいます。（所要：2～2.5時間）

また、採血も25ml採取します。

負担を軽減するため参加者には研究費より一万円相当のクオカードを差し上げております。



参加できますか？

以下に該当される方は参加をお断りする場合がございます。

- ・ BMIが28以上の方
 - ・ 麻酔アレルギーがある方
 - ・ 出血傾向がある方、血が固まりづらい方
 - ・ 椎間板ヘルニア、慢性腰痛がある方
- 判断に迷われる場合には、下記までご相談ください。



ご参加いただける方は、下記までご連絡ください

国立精神・神経医療研究センター
メディカル・ゲノムセンター バイオリソース部
042-346-3520

窓口のスタッフに「髄液検査を希望」とお伝えください。
平日 10：00～17：00にお電話ください。